

平成25年9月18日

那須烏山市議会議長 佐藤 雄次郎 様

経済建設常任委員会委員長 久保居 光一郎

決算審査結果報告書

本委員会に平成25年9月9日に付託された事件は、審査の結果、次のとおり決定したので、那須烏山市議会会議規則（平成17年那須烏山市議会規則第1号）第109条の規定により報告します。

- 1 審査期日 平成25年9月10日（火）及び11日（水）
- 2 審査場所 那須烏山市役所 南那須庁舎 議員控室
- 3 出席委員 久保居光一郎、渋井由放、渡辺健寿、平山進、佐藤雄次郎、小森幸雄
- 4 説明のための出席者
農政課長 堀江豊水、商工観光課長 羽石徳雄、環境課長 小川祥一
都市建設課長 福田光宏、上下水道課長 樋山洋平 他関係職員
- 5 審査事項 本委員会の所管する農政課、商工観光課、環境課、都市建設課、上下水道課及び農業委員会の平成24年度那須烏山市一般会計、特別会計及び水道事業会計の歳入歳出決算
- 6 審査結果 本委員会が付託を受けた一般会計、特別会計及び水道事業会計の決算については、全会一致で原案のとおり認定すべきものと決定いたしました。
ただし、次のことについて要望し、意見を付することとします。

商工観光課

- ・企業誘致においては、積極的に企業等に出向き情報を収集するとともに、更なる実効性が図れる誘致活動を進められたい。
- ・市のPR活動及びそれらに関する事業を推進することは大いに有意なことと考える。しかしながら各事業における費用対効果についての検証を怠ることなく、事業によってはその見直しを図られたい。

農政課

- ・指定管理のふれあい農園事業が有効利用されるよう市のホームページなどで積極的にPRを図ると共に、利用者の推移を見守りつつ今後のあり方を検討されたい。
- ・「人・農地プラン」は今後の本市の農業に関わる重大なプランである。引き続き地域の実情にあった支援を図られたい。
- ・農産物の販路拡大事業及びそれらに関するPR事業は本市の農業振興を図るためにも重要な施策である。しかし各事業においては、その成果と費用対効果の検証をおこなうとともに、実効性が多く認められない事業にあっては廃止を含めた見直しを図られたい。

都市建設課

- ・市道整備は、引き続き国・県の有利な助成制度を検討し市の限られた財源で有効投資が図られるよう、優先順位を明確にして着実な整備を進められたい。
- ・市営住宅使用料の収納率は2年連続100%となったこと、また過年度未納分の収納率も向上していることは大いに評価できる。今後とも引き続き努力されたい。
- ・定住促進の観点からも、PFIなど民間活力の導入をすることなども視野に入れ、若者向け住宅の具体的な整備計画の策定を早急に進められたい。

上下水道課

- ・水道の有収率においては、改善が見られるものの県内他市町と比較すると低率である。引き続き漏水調査及び修繕を進めると共に、老朽管布設替等の抜本的な対策を早急に講じられたい。
- ・下水道への接続促進に対する成果は見られるが、未だに接続率が低い現状である。引き続き各課と連携し接続促進に努められたい。

環境課

- ・再生可能エネルギー利用向上のため、市民への補助金制度の充実を図られたい。
- ・一般廃棄物収集運搬業務の入札においては、更に公正な競争原理が働くよう入札条件の改革に努められたい。